

# 日本酒 学ぶ

日本酒学研究会ご入会案内



## 日本酒学研究会 設立の言葉

酒は人類最古の友である。

世界各地にさまざまな酒があるが、それらの中で日本酒はユニークな存在である。醸造酒でありながら、アルコール度数がもつとも高い。蒸留技術が伝わりながら、醸造で度数を高めようと複雑な工程を発達させたのは、なぜだろうか。もちろん味覚や風土もあろうが、それらも含めて日本の社会・文化のありかたが根底にあらう。酒造りで培われた技術力、ものづくりは、単に科学技術面の発展によるものではなく、それらを求め実現してきた社会や文化のありかたにも関わる。

日本酒も日本食ブームに乗って世界に広がっているだけでなく、欧米で日本酒を造ろうとしている人々も現れている。この時代に、日本酒を研究し学ぶことは、アルコール飲料としてだけでなく、日本の社会や文化を研究し学ぶことでもある。

国際化しつつある日本酒について、醸造学や発酵学を含め、人文、社会、理工、農、そして医歯学等、さまざまな側面からの研究を「日本酒学」として統合することによって、新たな学問領域の発展を目指し、日本酒学研究会を設立するものである。

平成三十一年三月八日

## 主な活動

1. 研究大会の開催
2. 会誌および論文集の刊行
3. 国際交流
4. 講演会・研修会などの開催
5. 本会の目的を達成するために必要な事業

## 会員種類

1. 個人会員〈年会費5千円〉  
日本酒学に関し学術的研究を行う者、その成果を活かし、かつ日本酒の発展などにたずさわる研究者、行政担当者、実務者などで本会の目的に賛同して入会した個人。
2. 一般会員〈年会費3千円〉  
上に定める個人会員には該当しないが、本会の目的に賛同する個人。  
※一般会員は、総会における投票権と論文集への投稿権とを有しないものとします。
3. 学生会員〈年会費3千円〉  
日本酒学に関し学術的研究を行う大学生または大学院生で、本会の目的に賛同して入会した個人。
4. 団体会員〈年会費2万円〉  
団体または企業で本会の目的に賛同して入会したものの。
5. 賛助団体会員〈団体会員年会費の任意の口数〉  
本会の目的・事業を賛助するため入会した団体または企業。  
※賛助団体会員は、総会における投票権と論文集への投稿権とを有しないものとします。

# 日本酒学 研究会

多角的な視点から日本酒を研究し、  
その成果を活かす活動を行います。

## 会員募集中!

## 発起人

(五十音順/所属は設立時点)

赤田 倫治	山口大学工学部
朝倉 俊成	新潟薬科大学薬学部
阿部 顕三	大阪大学大学院経済学研究科
小笠原 涉	長岡技術科学大学生物機能工学課程
鎌谷かおる	立命館大学食マネジメント学部
岸 保行	新潟大学日本酒学センター
小関 卓也	山形大学農学部
後藤 奈美	酒類総合研究所
澤村 明	新潟大学日本酒学センター
塩澤 修平	慶應義塾大学経済学部
末吉 邦	新潟大学日本酒学センター
鈴木 一史	新潟大学日本酒学センター
鈴木 秀顕	東京国際ビジネスカレッジ
高久 洋暁	新潟薬科大学応用生命科学部
高橋 均	新潟大学日本酒学センター
都留 康	一橋大学経済研究所
二宮 麻里	福岡大学商学部
ニコラ・ボーメール	名古屋大学教養教育院
水野 雅史	神戸大学大学院農学研究科
宮田 安彦	大妻女子大学家政学部
村山 和恵	新潟青陵短期大学

## ご入会申込・問合せ

趣旨に賛同される方はどなたでも参加いただけます。

### 日本酒学研究会

事務局 〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050  
新潟大学日本酒学センター内  
Mail nihonshugaku@gmail.com  
郵便振替口座 00590-7-87533